

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 M.M

はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受け、オーストラリアの薬学及び語学研修に参加しましたのでその内容について報告いたします。

## 1) 渡航前に考えていた自分の目標

自分の考えを英語で言えるようになること、また英語をこれまで以上に好きになり、抵抗なく使えるようになることを目標としていました。これまでは文法や単語の学習が中心で、実際に自分の意見を英語で伝える機会が少なかったため、現地では積極的に会話に参加し、自分の言葉で発信する力を身に付けたいと考えていました。さらに間違いを恐れずに話す姿勢を大切にして、英語でのコミュニケーションに対する苦手意識を減らすことも目標としていました。

## 2) その目標は渡航後どうだったのか

もともと英語や人と話すことが好きだったこともあり、実際に現地で生活してみると、英語での会話は想像していたよりもでき、自分の考えを伝えることもある程度できたと思います。現地の人々も優しく、コミュニケーションに困る場面は少なかったです。一方で、自分の声の小ささや発言の遠慮がちさに気づき、よりはっきりと自信を持って伝える力を身に付ける必要があると感じました。また相手に伝わるように工夫することの重要性も実感しました。今後はより積極的に発言し、自分の意見を明確に伝えられるようになりたいと考えました。

## 3) これからの自分

今回の経験を通して、自分の語学力や積極性に課題があると感じたため、今後はリスニング力や語彙力の向上に努めたいと思います。また、医療英語にも継続的に触れ、専門的な内容にも対応できる力を身に付けたいです。加えて受け身ではなく、主体的に行動し、積極的に発言する姿勢を意識していきたいです。

#### 4) 医療施設見学

今回、私たちは Gold Coast Private Hospital を見学させていただきました。日本と比較して医師、看護師、薬剤師の距離が近く、職種間の連携が取りやすい環境であると感じました。またスタッフ同士の雰囲気も良く、チーム医療が実践されている印象を受けました。さらに建物は日本よりも開放的な構造で明るくゆとりのある空間が特徴的でした。加えてオーストラリアでは肥満の患者が多いことから、体格に配慮した専用のベッドが用意されているなど、日本とは異なる医療環境の特徴も見られました。また、施設内にはリハビリテーションのためのジムのような設備も整っており、患者の回復や日常生活への復帰を重視している点が印象的でした。



Fig1 病院内の運動スペース

#### 5) 語学学習

最終日の授業は、映画鑑賞で終わり日本の授業ではあまり見られない形式で新鮮に感じました。授業の多くはグループでの話し合いが中心であり、自然と周囲の人と打ち解けることができた点が印象的でした。また日本と比べて間違いに対して寛容な雰囲気があり、発言しても先生が前向きに受け止めてくれるので、安心して話すことができました。さらに先生とも気軽に様々な話題について話すことができ、終始楽しく学ぶことができました。

#### 6) 交流体験（ホームステイなど）

ホームステイでは現地の家庭で生活することで、文化や価値観の違いを身近に感じることができました。言語の壁を感じる場面も多々ありましたが、積極的にコミュニケーションを取ることで交流を深めることができ、貴重な体験となりました。



Fig2 ホストファミリーの家の  
近くのビーチ

#### 7) 渡航先について（気候、食べ物、生活環境など）

オーストラリアは温暖で過ごしやすい気候であり、自然が豊かでゆったりとした生活環境が印象的でした。食事は肉類やパンが中心で、ホストファミリーのおかげで日本とは異なる食文化を体験することができました。また、多文化社会であるため、様々な背景を持つ人々が共存している点も特徴的でした。

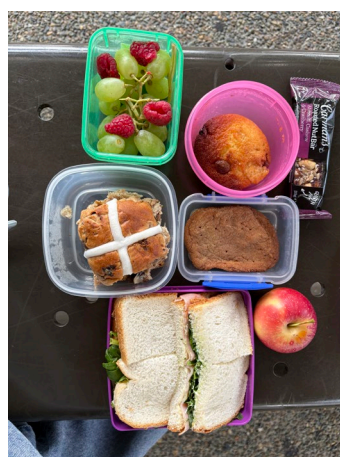


Fig3 ホストファミリーによって  
いただいた食事

#### 8) 最後に

このような貴重な機会に参加できたことに心から感謝しています。実際に留学を経験してみて、薬学部に所属しているからといって、必ずしも薬剤師にならなければいけないというものではなく、自分の興味や関心に基づいて、将来の進路を考えることの大切さを実感しました。これまでは視野が狭く、1つの道にとらわれがちでしたが、海外で様々な価値観や生き方に触れたことで、自分の可能性はもっと広げられるのではないかと感じました。また、現地での生活や人との出会いを通して新しいことに挑戦することの楽しさや大切さにも気づくことができました。海外に出ることで自分の当たり前が当たり前ではないことを知り、物事を柔軟に考える力も身に付いたと感じています。今後はまだ見つけられていない自分の好きなことや、やりたいことに目を向け、積極的に挑戦していきたいです。そして今回の経験を今後の学びや将来に活かしていきたいと考えています。